

**CASBEE 柏2014年版**  
**(仮称) 柏の葉154街区計画**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE 柏2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE 柏2014(v.3.01)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-			<b>3.8</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	2.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	界床遮音性能(重量衝撃源) Lr=50	-	-	4.0	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.3</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00			<b>4.3</b>
2.1 室温制御		3.0	0.50	5.0	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 外皮性能	断熱等性能等級4	3.0	0.38	5.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		2.0	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	<b>3.7</b>	1.00			<b>3.6</b>
3.1 昼光利用		4.2	0.30	3.4	0.50			
1 昼光率	共) エントランスホール・ロビーで3.80% 住) 居間食堂で3.25%	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	1.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50			
1 昼光制御	カーテン及び庇(バルコニー)により昼光制御	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御	タイマー等による自動制御採用	5.0	0.25	-	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.8</b>
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材を全面的に使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.6	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮	住) 給気位置と排気位置は距離をとっている	3.0	0.50	5.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>		<b>4.1</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応	Gbitクラスのブロードバンド利用可能	-	-	5.0	1.00			
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たす	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画	建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している	5.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	建物の維持管理に適切な施設を設置している	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30	-	-			<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	壁・天井) 20年(ビニルクロス貼り)、床) 20年(塩ビタイル貼り)	4.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水) ビニルライニング鋼管(B)、汚水・雑排水) 塩化ビニル管(B)、E不使	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-			

<b>2.4 信頼性</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.2</b>	1.00	3.1
<b>3.1 空間のゆとり</b>			-	-	<b>3.4</b>	0.50	
1	階高のゆとり	階高3.0m以上確保	-	-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	1.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			-	-	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	2.7
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			2.0	0.30	-	-	2.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			3.0	0.40	-	-	3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	3.7
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	4.1
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		断熱等性能等級4	5.0	0.20	-	-	5.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>			2.0	0.10	-	-	2.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEIm 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.95	4.6	0.50	-	-	4.6
集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)		潜熱回収型ガス給湯器、LED照明設備の採用	4.6	1.00	-	-	
<b>4 効率的運用</b>			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	3.5
<b>1 水資源保護</b>			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器や水栓を積極的に採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		タイル(外壁)、木質フローリング(内装)、ルーフィング(防水)	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装が乾式工法、配管配線と設備との錯綜がない	5.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材はノンフロン製品を採用	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	3.4
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		LCCO2排出量を参照値より抑制している	4.0	0.33	-	-	4.0
<b>2 地域環境への配慮</b>			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	敷地内に駐車・駐輪場・搬入車庫用スペースを配置、複数の出入口確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	多種分別回収が可能なストックスペース計画、ディスプレイ設備の採用	4.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			3.2	0.33	-	-	3.2
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストの過半を満たす、広告物照明がない	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	